

2019年(1月～12月)



環境経営レポート



株式会社 日本医療環境サービス

発行日 : 2020年3月27日

[目 次]

1. 組織の概要	P1～P4
2. 対象範囲	P5
3. 環境経営方針	P6
4. 環境経営目標	P7
5. 環境経営計画	P8
6. 環境経営目標の実績	P9～P11
7. 環境経営計画の実施状況とその評価、 次年度の取組み内容	P12～P13
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P14
9. 環境経営取組み事例等の紹介	P15～P17
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	P18

1. 組織の概要

- ・ 事業所名 株式会社 日本医療環境サービス
及び代表者氏名 代表取締役 角 武志
- ・ 所在地 福岡本社 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東四丁目8-20
長崎事業所 長崎県長崎市京泊2丁目8-40
- ・ 環境管理責任者氏名 営業係長 大澤 圭輔
- ・ 連絡先 TEL 092-938-2200
FAX 092-938-1110
E-mail info@nihoniryou-kankyouservice.jp
- ・ ホームページ <http://www.nihoniryou-kankyouservice.jp/>
- ・ 事業の内容 産業廃棄物収集運搬業(医療系)
一般廃棄物収集運搬業
衛生資材販売

・ 事業の規模 (年度は1月～12月)

	単位	2017年度	2018年度	2019年度
売上高(税込)	百万円	909	1,028	1,113
従業員数	人	47	53	61
床面積	m ²	1,574.1	1,574.1	1,574.1

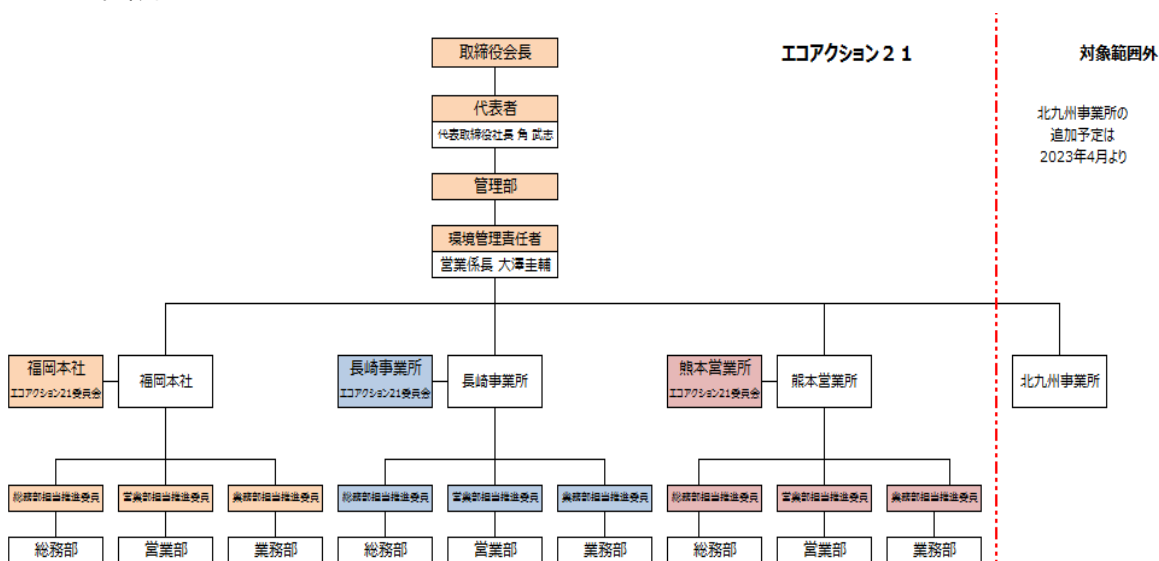
・ 法人設立年月日 昭和60年 3月 20日

・ 資本金 1,000万円

・ 廃棄物収集運搬実績(単位:t) ※本社、長崎収集取扱い量

分 類	廃棄物の種類	2017年度	2018年度	2019年度
	感染性廃棄物	4,653.9	4,824.5	4,798.7
	廃プラ、ガラスくず、金属くず	1,549.7	1,691.4	1,713.4
	廃酸	12.8	13.3	12.9
	廃アルカリ	11.2	9.8	8.0
	廃油	3.3	7.0	6.0
	その他	25.1	31.7	25.9
	事業系一般廃棄物	604.6	1,172.4	1,370.4
	合計	6,860.6	7,750.1	7,935.3

・ 組織図



・設備等の状況

福岡本社							
保冷車	0.85t	1台	積替保管施設概要				
	1.0t	1台	産業廃棄物の種類		保管面積	保管上限	
	1.9t	1台	特別管理 産業廃棄物	感染性廃棄物	①19.44㎡	①42.77㎓	
	2.0t	17台			②74.90㎡	②179.76㎓	
	3.0t	2台			廃油	0.8㎡	0.72㎓
	3.45t	1台			廃酸	0.8㎡	0.24㎓
	3.5t	1台		廃アルカリ	0.8㎡	0.24㎓	
	3.65t	5台		汚泥	0.8㎡	0.18㎓	
3.75t	1台	産業廃棄物		廃プラスチック類・ 金属くず・ガラスくず 等・廃油・廃酸・ 廃アルカリ・燃え殻・ ゴムくず(水銀使用製 品産業廃棄物含む)	①8.54㎡	①11.96㎓	
2.75t	1台		②8.47㎡		②11.86㎓		
2.9t	1台		③8.04㎡		③16.08㎓		
3.6t	1台						
キャブオーバ	2.0t	2台	汚泥(廃薬品類に限る)	0.21㎡	0.1㎓		

長崎事業所						
保冷車	2.0t	5台	積替保管施設概要			
	3.0t	1台	産業廃棄物の種類		保管面積	保管上限
	3.65t	2台	特別管理 産業廃棄物	汚泥	37.44㎡	0.3㎓
ダンプ車	2.9t	1台		廃油		0.3㎓
	3.5t	1台		廃酸		0.3㎓
パッカー車	2.0t	1台		廃アルカリ		0.3㎓
	2.7t	1台		感染性廃棄物		53.15㎓
	3.55t	1台	産業廃棄物	燃え殻	23.32㎡	1.077㎓
		汚泥		0.8㎓		
		廃油		0.8㎓		
		廃酸		0.8㎓		
		廃アルカリ		0.8㎓		
		廃プラスチック類		28.0㎓		
		紙くず		1.077㎓		
		木くず		1.077㎓		
		繊維くず		1.077㎓		
		動植物性残さ		0.864㎓		
		ゴムくず		1.077㎓		
		金属くず		1.077㎓		
		ガラスくず等	1.077㎓			
		水銀使用製品産業廃棄物	1.077㎓			

・産業廃棄物収集運搬業許可内容

産業廃棄物収集運搬業				許可項目													備考									
都道府県及び政令都市	優良事業者認定	積替保管	許可年月日有効期限	許可番号	特別管理産業廃棄物			産業廃棄物																		
					廃油	廃酸	廃アルカリ	汚泥	感染性廃棄物	廃プラ	金属くず	ガラスくず等	燃え殻	廃油	廃酸	廃アルカリ		ゴムくず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ			
福岡県	●	●	2014.3.6～ 2021.3.5	特管 第0406002589	●	●	●	●	●																・所在地 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東四丁目115番1 ・種類(1) 感染性廃棄物 ・面積 ①19.44m2 ②74.90m2 ・保管上限 ①42.77m3 ②179.76m3 ・積み上げることができる高さ ①2.2m ②2.4m ・種類(2) 廃油 ・面積 0.8m2 ・保管上限 0.72m3 ・積み上げることができる高さ 1.05m ・種類(3) 廃酸 ・面積 0.8m2 ・保管上限 0.24m3 ・積み上げることができる高さ 0.6m ・種類(4) 廃アルカリ ・面積 0.8m2 ・保管上限 0.24m3 ・積み上げることができる高さ 0.6m ・種類(5) 汚泥 ・面積 0.8m2 ・保管上限 0.18m3 ・積み上げることができる高さ 0.3m ・許可の条件 廃棄物の積替え及び保管行為は、積替え保管場所以外では行わないこと。	
	●	●	2017.6.19～ 2024.6.18	産廃 第04010002589						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・所在地 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東四丁目115番1 ・種類(1) 廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず等・燃え殻・廃油・廃酸・廃アルカリ・ゴムくず(一部、石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物を含む。又、自動車等破砕物は除く。) ・面積 ①8.54m2 ②8.47m2 ③8.04m2 ・保管上限 ①11.96m3 ②11.86m3 ③16.08m3 ・積み上げることができる高さ ①1.4m ②1.4m ③2.0m ・種類(2) 汚泥(廃薬品類に限る) ・面積 0.21m2 ・保管上限 0.1m3 ・許可の条件 廃棄物の積替え及び保管行為は、積替え保管場所以外では行わないこと。
長崎市	●	●	2017.5.31～ 2024.5.30	特管 第07963002589	●	●	●	●	●																・所在地 長崎市京泊2丁目8-40 ・面積 37.44m2 ・種類 保管上限 保管方法 汚泥 0.3m3 屋内・容器 廃油 0.3m3 屋内・容器 廃酸 0.3m3 屋内・容器 廃アルカリ 0.3m3 屋内・容器 感染性廃棄物 53.15m3 屋内・容器	
	●	●	2017.5.31～ 2024.5.30	産廃 第07913002589						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・所在地 長崎市京泊2丁目8-40 ・面積 23.32m2 ・種類 保管上限 保管方法 燃え殻 1.077m3 屋内・容器 汚泥 0.8m3 屋内・容器 廃油 0.8m3 屋内・容器 廃酸 0.8m3 屋内・容器 廃アルカリ 0.8m3 屋内・容器 廃プラスチック類 28.0m3 屋内・容器 紙くず 1.077m3 屋内・容器 木くず 1.077m3 屋内・容器 繊維くず 1.077m3 屋内・容器 動植物性残さ 0.864m3 屋内・容器 ゴムくず 1.077m3 屋内・容器 金属くず 1.077m3 屋内・容器 ガラスくず・コンクリート 1.077m3 屋内・容器 くず及び陶磁器くず 1.077m3 屋内・容器 水銀使用製品 1.077m3 屋内・容器 産業廃棄物
長崎県	●	●	2017.6.3～ 2024.6.2	特管 第04250002589	●	●	●	●	●																	
	●	●	2017.6.3～ 2024.6.2	産廃 第04200002589						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
佐賀県	●	●	2014.4.26～ 2021.4.25	特管 第04153002589	●	●	●	●	●																	
	●	●	2014.4.26～ 2021.4.25	産廃 第04103002589						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
熊本県	●	●	2016.6.14～ 2023.6.13	特管 第04355002589	●	●	●	●	●																	
	●	●	2016.6.14～ 2023.6.13	産廃 第04305002589						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大分県	●	●	2018.4.27～ 2025.4.26	特管 第04457002589	●	●	●	●	●																	
	●	●	2018.6.15～ 2025.6.14	産廃 第04407002589						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
山口県	●	●	2016.12.13～ 2023.12.12	特管 第03550002589	●	●	●	●	●																	
	●	●	2016.12.13～ 2023.12.12	産廃 第03500002589						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

* 2011年4月の法令改正により、都道府県知事許可で当該県内全域の産業廃棄物収集運搬が可能となり、政令都市市長の許可は失効した。但し、長崎市は、長崎事業所の「積替・保管」許可の為、必要となっている。

・一般廃棄物収集運搬業許可内容

	積替え保管	有効期限	許可番号	許可項目	許可の条件
長崎市	/	2019.8.20 ～ 2021.8.19	長崎市一廃 許可第513号	一般廃棄物(し尿・浄化槽汚泥・特別管理一般廃棄物を除く)	洗車設備を確保し、収集車をつねに清潔に保持すること。廃棄物は必ず分別収集し、それぞれ市が指定する処理施設へ搬入すること。
長与町	/	2019.6.19 ～ 2021.6.18	長与町一廃 許可第88号	生活系一般廃棄物・事業系一般廃棄物	一般廃棄物を収集・運搬する際は、必ず廃棄物の飛散流出防止等の措置を講ずること。
時津町	/	2019.7.1～ 2021.6.30	時津町一廃 許可第38号	事業系一般廃棄物	一般廃棄物を収集・運搬する際は、必ず廃棄物の飛散流出防止等の措置を講ずること。

2. 対象範囲

- ・ 対象組織 株式会社 日本医療環境サービス
福岡本社 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東四丁目8-20
長崎事業所 長崎県長崎市京泊2丁目8-40
熊本営業所は2020年1月より認証登録範囲に追加して実施中
 熊本県熊本市東区長嶺西1丁目10-41
北九州事業所は2023年4月より認証登録範囲に追加予定
- ・ 対象活動 産業廃棄物収集運搬業(医療系)
 一般廃棄物収集運搬業
 衛生資材販売

3. 環境経営方針



【企業理念】

社名の日本医療環境サービスの頭文字 **n** をデザイン化して地表をイメージし、その地表に自然に優しく処理されたクリーンな廃棄物として土に還る様子をシンボルマークにしたのが弊社の社章です。

今や全世界では地球環境の保全が人類共通の課題であり、有限な地球資源を可能な限り有効利用し循環型社会の一翼に寄与するため、廃棄物の積極的リサイクルを推進し、以って社会に貢献することを会社の理念と致します。

【環境経営方針】

弊社は「収集運搬車両」に関する燃料及び事務所・倉庫の電力の消費が環境負荷の最大原因となっています。事業活動に伴う法令等の遵守は当然のこととして、環境マネジメントを積極的に活用・維持し、次の活動を通して環境負荷の低減を図り、社員一同会社内外の緑化活動を推進し、会社周辺に植木の植栽、事務所内には観葉物を設置し、緑に囲まれた職場環境を作り、^植誰か見てもさずか環境事業を^る生業としている会社であると感心させる職場作りに努めます。

- ① 医療廃棄物のリサイクルの啓発を図り資源の再利用に貢献します。
- ② 法令等を遵守して地域環境の保全に努めます。
- ③ 下記の項目について環境負荷低減化を図り、管理向上に努めます。
 - 収集・運搬時の車両燃料の削減と二酸化炭素の発生抑制
 - 倉庫及び事務所の節電
- ④ 洗車・洗濯・散水での水使用量の削減
- ⑤ 社員及び関係者に対する環境知識の普及啓発に努めます。
- ⑥ グリーン購入を推進し、環境に配慮した物品、容器の調達に努めます。
- ⑦ 倉庫及び事務所から排出される廃棄物の削減に努めます。

作成日 2005年8月 6日

改定日 2016年2月20日

株式会社 日本医療環境サービス
代表取締役 角 武志

4. 環境経営目標

* 基準年：福岡本社(2014年度)・長崎事業所(2018年度) ()は対基準年 目標達成率%

項目		単位	事業所	基準年	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
1	二酸化炭素排出量÷ 受託廃棄物収集量	kg-CO ₂ /t	本社	88.5	87.9 (100.7%)	87.7 (100.9%)	87.7 (100.9%)	87.5 (101.1%)	
			長崎	75.9	75.5 (100.5%)	75.5 (100.5%)	75.2 (100.9%)	75.2 (100.9%)	
			計	84.4	84.0 (100.5%)	83.9 (100.6%)	83.8 (100.7%)	83.6 (100.9%)	
	購入電力	kWh	本社	14,149	16,000 (86.9%)	15,800 (88.3%)	15,800 (88.3%)	15,600 (89.7%)	
			長崎	9,898	9,800 (101.0%)	9,800 (101.0%)	9,750 (101.5%)	9,750 (101.5%)	
			計	24,047	25,800 (92.7%)	25,600 (93.5%)	25,550 (94.0%)	25,350 (94.6%)	
	全車両走行距離÷ 軽油・ガソリン等使用量 (車両実燃費)	km/L	本社	7.50	7.58 (101.0%)	7.60 (101.3%)	7.60 (101.3%)	7.60 (101.3%)	
			長崎	7.21	7.21 (100.0%)	7.23 (100.3%)	7.23 (100.3%)	7.25 (100.6%)	
			計	7.40	7.42 (100.2%)	7.45 (100.7%)	7.45 (100.7%)	7.47 (100.9%)	
2	廃棄物等 総排出量削減	kg	本社	2,315	2,000 (113.6%)	1,900 (117.9%)	1,900 (117.9%)	1,900 (117.9%)	
			長崎	506	500 (101.2%)	500 (101.2%)	495 (102.2%)	495 (102.2%)	
			計	2,821	2,500 (112.8%)	2,400 (117.5%)	2,395 (117.8%)	2,395 (117.8%)	
3	水使用量削減	m ³	本社	351	450 (71.8%)	450 (71.8%)	450 (71.8%)	450 (71.8%)	
			長崎	267	220 (117.8%)	220 (117.8%)	220 (117.8%)	220 (117.8%)	
			計	618	670 (91.6%)	670 (91.6%)	670 (91.6%)	670 (91.6%)	
4	グリーン 購入	事務用品等の購入 数量の割合向上	%(比率)	本社	36.2	37.5	37.5	38.0	38.0
				長崎	57.9	54.0	54.0	54.0	54.0
	感染性廃棄物容器の 段ボール箱使用個数 の向上(自社努力で 管理できるもの)	%(個数)	本社	53.0	53.5	53.7	53.7	53.7	
			長崎	24.7	25.0	25.0	25.2	25.2	
5	教 育	社 員	回	本社	11	13	13	13	13
				長崎	16	16	16	16	16
	ユ ー ザ ー	回	本社	19	20	20	20	20	
			長崎	8	6	6	6	6	
6	収集産業廃棄物のリサ イクル率(自社努力で管 理できるもの)	%(重量)	本社	93.5	94.0	94.0	94.0	94.0	
			長崎	98.8	98.0	98.0	98.0	98.0	
7	運搬車両の洗車 (1回/週)	%(1台につ き1回/週)	本社	-	80.0	80.0	80.0	80.0	
			長崎	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	
	受託廃棄物収集量	t	本社	4,931.5	5,300.0	5,300.0	5,350.0	5,350.0	
			長崎	2,405.7	2,420.0	2,420.0	2,450.0	2,450.0	
			計	7,337.2	7,720.0	7,720.0	7,800.0	7,800.0	

* 購入電力の二酸化炭素排出係数 九州電力 2013年度係数 0.613kg-CO₂/kWh使用

* 購入電力に関しては仕事量の増加に伴う社員の増加や残業等の勤務時間の増加が発生している為、目標値自体を少し上げている。

* 水使用量削減は環境経営計画に運搬車両の洗車ということで新たに目標を加えた。また、駐車場の植木の枯れ防止の為、夏場の散水を多めにするよう指示があり、目標値自体を上げた。

* PRTR制度対象物質となる化学物質は未使用のため目標及び活動から除外している。

5. 環境経営計画

- 1) 購入電力・化石燃料の使用削減による二酸化炭素排出量の抑制・削減
 - ・ 軽油・ガソリンの燃料消費量の削減 —— 業務部・営業部
 - ① 収集・運搬車両のコース・搬入処理場の検討。
 - ② 安全運転・アイドリングストップの実施。
 - ③ 始業時車両点検と車両不調時早目の点検。
 - ④ 収集後の処理場直接搬入を増加させるコースの検討。
 - ⑤ 処理場搬入の効率アップの為、大型車の導入。
 - ⑥ 車両買換え時のCO₂低排出車両への入れ替え。
 - ⑦ エコドライブ勉強会の実施。
 - ⑧ 車両エアコンのこまめなスイッチ操作の実施。
 - ・ 購入電力の消費削減 —— 総務部の率先により全社員
 - ① エアコン設定温度の再確認・こまめなスイッチ操作の実施。 —— 総務部
夏期27℃ 冬期21℃
 - ② 室内蛍光灯の配列を考え、不要部所の消灯。
 - ③ 業務の効率化による夜間点灯時間の短縮。 —— プラットホームの活用・パレットの使用等
* 駐車場外灯の設定時間調整、LED電球への変更・太陽光発電装置設置済(本社のみ)
- 2) 廃棄物等総排出量の削減(当初計画の継続) —— 全社員
 - ① 1度使用した白上質紙の裏面利用の促進。 —— 裏面使用可能な用紙のトレイ設置
社内資料は裏面利用を原則とする。
 - ② 両面コピーの実施促進。
 - ③ 紙ゴミはシュレッダー処理し、リサイクルへ —— 古紙リサイクル業者へ
 - ④ 一般廃棄物の排出抑制(有価物・資源ゴミは分別)
- 3) 水使用量の削減 —— 全社員
 - ① 洗車時 —— 止水装置使用
 - ② 洗濯時 —— 時間制限(30分)
 - ③ 節水コマの取り付け・垂れ流しの禁止・まとめ洗い
 - ④ 植木への水撒きの検討(やり過ぎないこと・季節による量の加減)
- 4) グリーン購入 —— 総務部・営業部
 - ① 事務用品は、極力グリーン商品リスト掲載品より選択して購入する。
 - ② 感染性廃棄物用段ボール箱の使用促進
段ボール箱は、85%以上が再生紙を使用しており、ポリ容器に比較してコスト面でも安価である為、この使用を促進する。 —— 廃棄物分別指導によるユーザーへの使用のアピール
- 5) 教育 —— 営業部
 - ① 社員への勉強会・研修会の実施。
 - ② ユーザー医療機関に出向いての研修会アピール及び実施。
- 6) 収集した産業廃棄物(医療廃棄物)のリサイクル率の向上。 —— 社長・営業部
 - ① リサイクル処理場への搬入量の増加を図る。
医療廃棄物のリサイクル処理のアピール
 - * リサイクル処理方法
 - 1) 産業廃棄物を焼却する際に発生する熱を利用し蒸気をつくりタービンを動かし発電する。
 - 2) 鉄を熔融する電気炉にて産業廃棄物を熔融処理し、鉄鋼製品として完全リサイクルする。
 - ② 新規取引先のリサイクル処理場との契約

6. 環境経営目標の実績

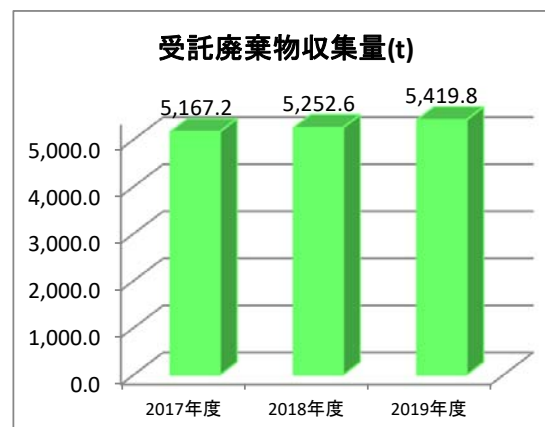
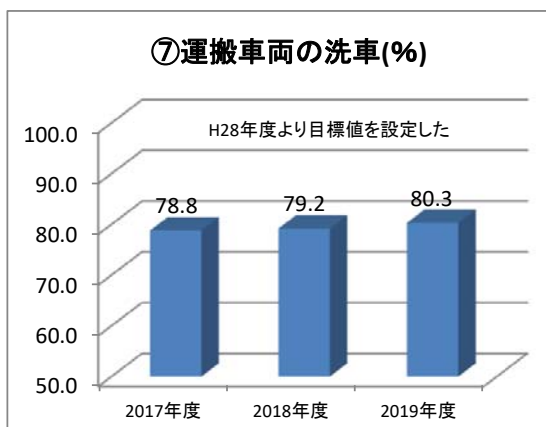
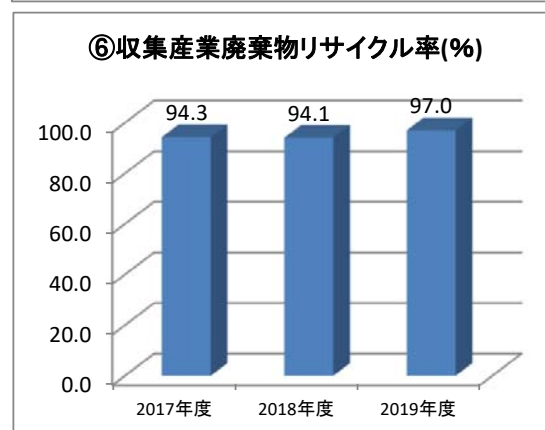
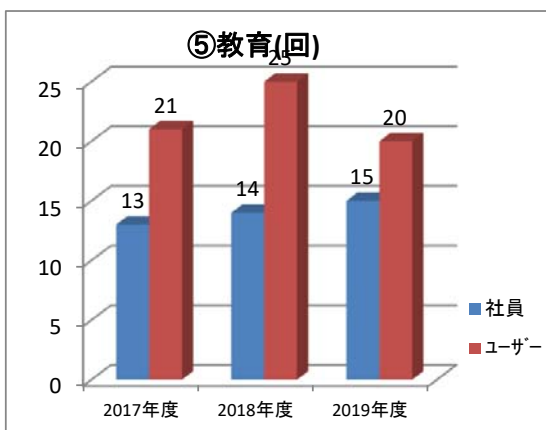
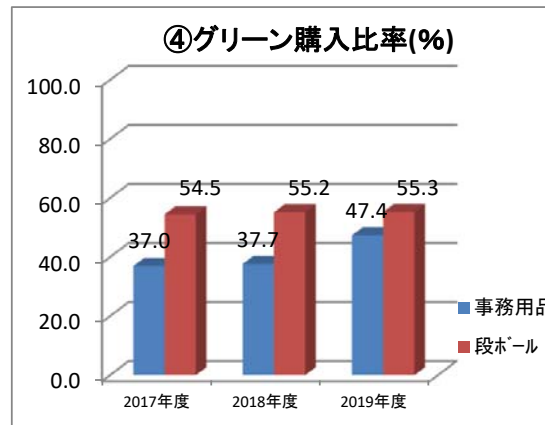
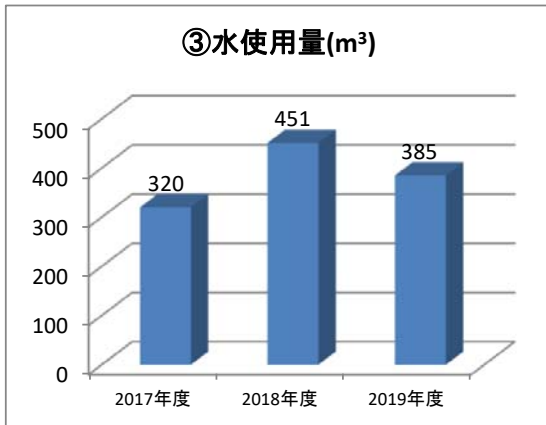
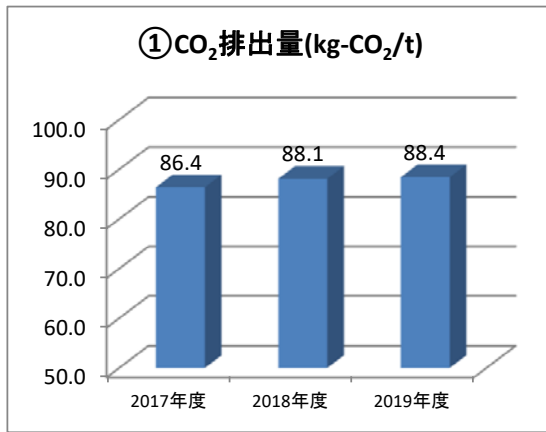
[参考] 福岡本社及び長崎事業所における環境負荷の年間合計量は以下の通りである。

福岡本社及び長崎事業所の年間合計量	(A)二酸化炭素排出量	641,497.12(kg-CO ₂)	廃棄物 収集量 あたり(t)	(A) ÷ (D) = 80.8(kg-CO ₂ /t)
	(B)廃棄物等排出量	2,381.0(kg)		(B) ÷ (D) = 0.3(kg/t)
	(C)総排水量	556(m ³)		(C) ÷ (D) = 0.07(m ³ /t)
	(D)受託廃棄物収集量	7,935.3(t)	本社 走行距離	1,428,127(km)
環境目標と実績は以下の通りである。			長崎 走行距離	474,204(km)

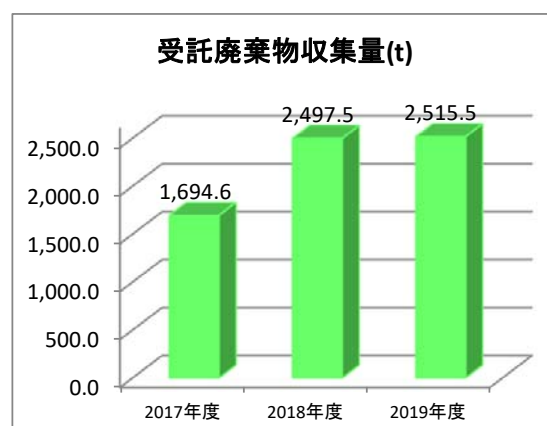
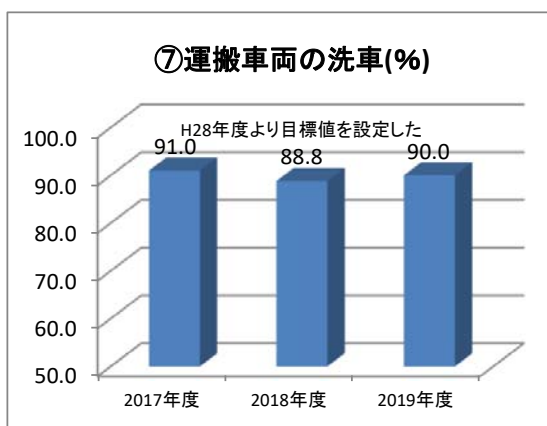
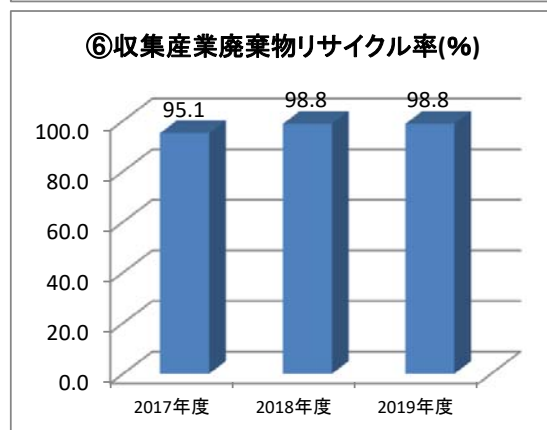
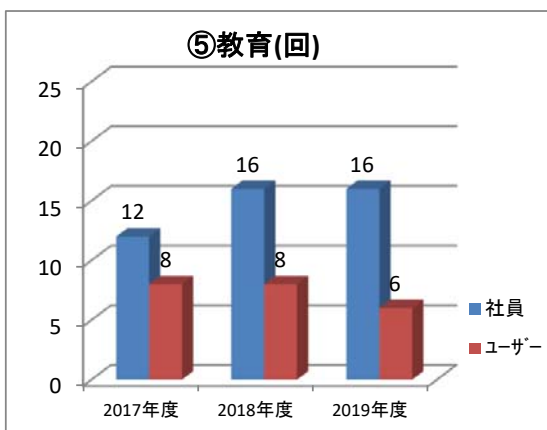
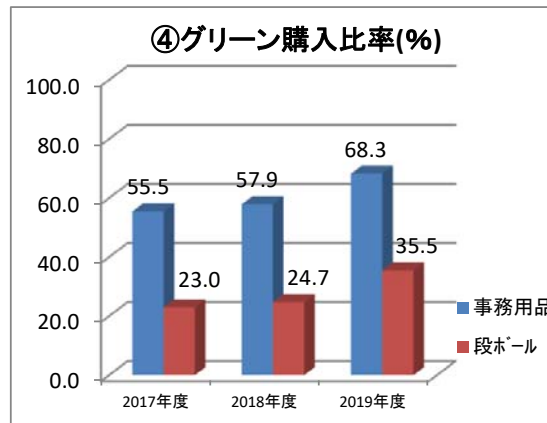
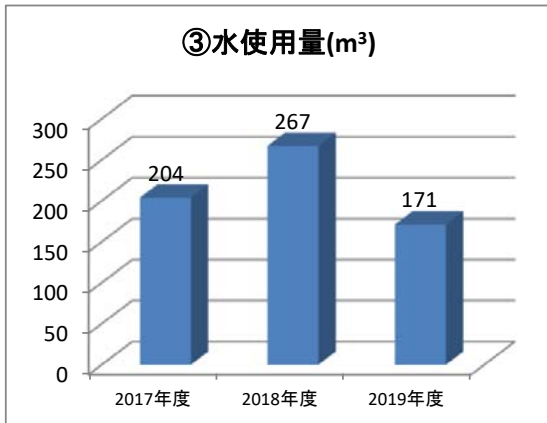
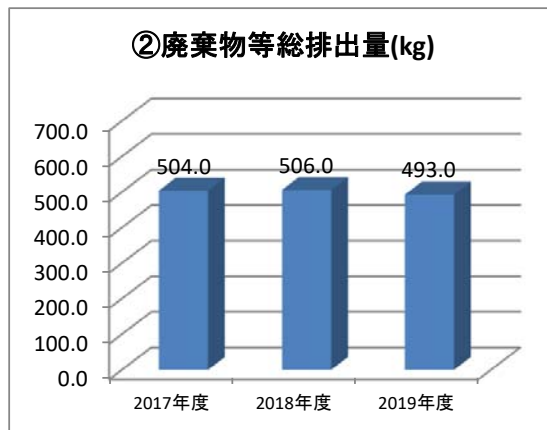
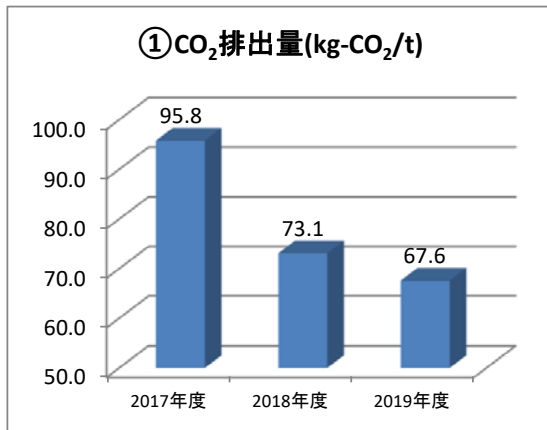
項目	単位	事業所	2019年度	2019年度	差異	目標に対する 達成率(%)		
			目標	実績				
1	二酸化炭素排出量÷ 受託廃棄物収集量	kg- CO ₂ /t	本社	87.9	88.4	-0.5	99.4%	
			長崎	75.5	67.6	7.9	110.5%	
			計	84.0	80.8	3.2	104.0%	
	購入電力削減	kWh	本社	16,000	14,319	1,681	110.5%	
			長崎	9,800	9,980	-180	98.2%	
			計	25,800	24,299	1,501	105.8%	
	全車両走行距離÷ 軽油・ガソリン等使用量 (車両実燃費)	km/L	本社	7.58	7.93	0.35	104.6%	
			長崎	7.21	7.40	0.19	102.6%	
			計	7.42	7.78	0.36	104.9%	
2	廃棄物等 総排出量削減	kg	本社	2,000	1,888	112	105.6%	
			長崎	500	493	7	101.4%	
			計	2,500	2,381	119	104.8%	
3	水使用量削減	m ³	本社	450	385	65	114.4%	
			長崎	220	171	49	122.2%	
			計	670	556	114.0	117.0%	
4	グリーン 購入	事務用品等の購入 数量の割合向上	%(比率)	本社	37.5	47.4	9.9	126.4%
				長崎	54.0	68.3	14.3	126.5%
	感染性廃棄物容器 の段ボール箱使用個 数の向上(自社努力 で管理できるもの)	%(個数)	本社	53.5	55.3	1.8	103.4%	
			長崎	25.0	35.5	10.5	142.0%	
5	教 育	社員	回	本社	13	15	2	115.4%
				長崎	16	16	0	100.0%
	ユーザー	回	本社	20	20	0	100.0%	
			長崎	6	6	0	100.0%	
6	収集産業廃棄物のリサ イクル率(自社努力で管 理できるもの)	%	本社	94.0	97.0	3.0	103.2%	
			長崎	98.0	98.8	0.8	100.8%	
7	運搬車両の洗車 (1回/週)	%	本社	80.0	80.3	0.3	100.3%	
			長崎	88.8	90.0	1.2	101.4%	
受託廃棄物収集量	t	本社	5,300.0	5,419.8	119.8	102.3%		
		長崎	2,420.0	2,515.5	95.5	103.9%		
		計	7,720.0	7,935.3	215.3	102.8%		

- * 購入電力の二酸化炭素排出係数 九州電力 2013年度係数 0.613kg-CO₂/kWh使用
- * 購入電力に関しては仕事量の増加に伴う社員の増加や残業等の勤務時間の増加が発生している為、目標値自体を少し上げている。
- * 水使用量削減は環境経営計画に運搬車両の洗車ということで新たに目標を加えた。また、駐車場の植木枯れ防止の為、夏場の散水を多めにするよう指示があり、目標値自体を上げた。
- * PRTR制度対象物質となる化学物質は未使用のため目標及び活動から除外している。

3年間の実績グラフ [福岡本社]



3年間の実績グラフ [長崎事業所]



7. 環境経営計画の実施状況とその評価、次年度の取組み内容

2019年度における実施状況とその評価

[福岡本社]

取組み項目	活動項目	実施状況	評価	次年度の取組み
購入電力 使用量削減	エアコン設定温度の再確認 (夏場室温27°C・冬場室温21°C)	○	通期を通じて設定温度を意識して管理した。	外気温に応じた設定温度の設定 (管理は室温)
	エアコンフィルターの清掃	○	年4回の清掃は徹底できている。	徹底できているので引き続きおこなう。
	蛍光灯の配列検討・不要部所の消灯	○	終礼での定期的な周知を実施。	引き続き継続しておこなう。
	業務効率化による夜間点灯時間の短縮	○	一時的に残業で点灯時間が長くなること があるが意識はできている。	引き続き継続しておこなう。
	社屋の駐車場外灯の照明時間の短縮	○	外灯点灯は冬期のみであり、使用は暗くなる 18時以降の限られた時間のみである。	徹底できているので引き続きおこなう。
軽油・ガソリン等 使用量削減	収集運搬車両のコース・搬入処理場の検討	○	運搬効率を考えコースの見直し改定をおこ なっている。	引き続き継続しておこなう。
	安全運転・アイドリングストップの実施	○	日々、呼びかけをおこなっている。	引き続き継続しておこなう。
	始業時車両点検・車両不調時の早目の点検	○	各車の点検表を元に毎日点検をおこなってし ている。	多走行の車両も増えてきているので、不 調を早期に対応できるようにする。
	処理場直接搬入増加コースの検討	○	可能な限り直接搬入をおこなうようにしてい る。	引き続き継続しておこなう。
	効率アップの為、大型車の導入検討	-	車両購入の際はできるだけ大きい車両を購 入するようにしている。	引き続き継続しておこなう。
	CO ₂ 低排出車両への入れ替え	○	12月に古いトラック車両を1台入替えし、乗 用車を含め他に3台増車した。	計画的に車両の入替えを実施する。
	エコドライブ勉強会の実施	○	年末に実施した。	引き続き継続しておこなう。
	車両エアコンのこまめなスイッチ操作実施	○	燃費意識があり、無駄なエアコン使用もなく 実施されていた。	徹底できているので引き続きおこなう。
廃棄物等 総排出量削減	白上質紙の裏面利用の促進	○	裏面の利用は継続的にされている。	引き続き継続しておこなう。
	両面コピーの実施促進	○	極力両面印刷を実施している。	引き続き継続しておこなう。
	紙ゴミはシュレッダー処理し、リサイクルへ	○	徹底できている。	徹底できているので引き続きおこなう。
	一般廃棄物の排出抑制 (有価物・資源ゴミは分別)	○	分別を徹底できている。	徹底できているので引き続きおこなう。
水使用量削減	洗車時の止水装置使用	○	洗車時の取り決めで全て設置済。	引き続き継続しておこなう。
	洗濯時間 30分/1回	○	時間はタイマーで管理している。	引き続き継続しておこなう。
	節水こまの取り付け・垂れ流しの禁止 ・まとめ洗い	○	節水意識もあり、当番制でまとめ洗いを実 施している。	引き続き継続しておこなう。
	植木への水撒きの検討	○	適正な散水が実施されており、水使用量も 大幅に削減できた。	引き続き継続しておこなう。
グリーン購入 の促進	事務用品はグリーン商品リスト掲載品から の購入	○	グリーン商品リスト掲載分から購入ができてい る。	ガイドライン変更時に取組み方法を 再検討予定。
	感染性廃棄物用段ボール箱使用の促進	○	ユーザーに対して分別してコストダウンになること をアピールをしている。	ガイドライン変更時に取組み方法を再 検討予定。
教育・研修	産廃法改正時の指導・教育	○	改正等あればその都度従業員に教育してい る。	引き続き継続しておこなう。
	中途採用社員の教育	○	座学や同行等を管理者が実施。	引き続き継続しておこなう。
	EA21活動に関する指導・教育	△	社員全員に定期的な指導が必要。	定期的に報告をおこなう。
	ユーザーへの研修会アピール	○	徹底できている。	引き続き継続しておこなう。
	ユーザー研修会の実施	○	新規ユーザーへのアピールをおこない、目 標回数を達成できた。	引き続き継続しておこなう。
収集産業廃棄物の リサイクル率の 向上(自社管理で きるもの)	リサイクル処理場への搬入増加の為、 リサイクル処理アピール	○	実施できている。	ガイドライン変更時に取組み方法を 再検討予定。
	新規取引先のリサイクル処理場との契約	○	取引先処分場はリサイクルをおこなっていると ころがメインとなっている為問題なし。	ガイドライン変更時に取組み方法を 再検討予定。
運搬車両の 洗車	外装、保冷库内部の洗車	○	実施できている。	ガイドライン変更時に取組み方法を再 検討予定。
	室内の清掃	○	実施できている。	ガイドライン変更時に取組み方法を再 検討予定。

実施状況 ○:実施できている △:だいたい実施できている ×:実施できていない

[長崎事業所]

取組み項目	活動項目	実施状況	評価	次年度の取組み
購入電力 使用量削減	エアコン設定温度の再確認 (夏場室温27°C・冬場室温21°C)	○	冬期と夏期に関しては、一時的に設定温度をあげることもあった。	外気温に応じた設定温度の設定 (管理は室温)
	エアコンフィルターの清掃	○	3月、6月、9月、12月の年4回実施している。	徹底できているので引き続きおこなう。
	蛍光灯の配列検討・不要部所の消灯	○	配列等問題なし。不要部所の消灯を徹底して	引き続き継続しておこなう。
	業務効率化による夜間点灯時間の短縮	○	繁忙期は点灯時間が長くなることもある。	徹底できているので引き続きおこなう。
	社屋の駐車場外灯の照明時間の短縮	○	徹底できている。	引き続き継続しておこなう。
軽油・ガソリン等 使用量削減	収集運搬車両のコース・搬入処理場の検討	○	運搬効率を考えコースの見直し改定をおこなっている。	引き続き継続しておこなう。
	安全運転・アイドリングストップの実施	○	始業の際の呼びかけを実施	引き続き継続しておこなう。
	始業時車両点検・車両不調時の早目の点検	○	各車の点検表を元に毎日点検をおこなってし	車両点検により事故を未然に防ぐ
	処理場直接搬入増加コースの検討	○	可能な限り直接搬入をおこなうようにしている。	引き続き継続しておこなう。
	効率アップの為、大型車の導入検討	-	車両購入の際はできるだけ大きい車両を購入するようにしている。	引き続き継続しておこなう。
	CO ₂ 低排出車両への入れ替え	○	車両購入の際は燃費が良いものを採用している。	計画的に車両の入替えを実施する。
	エコドライブ勉強会の実施	○	定期的におこなっている。	引き続き継続しておこなう。
車両エアコンのこまめなスイッチ操作実施	△	エアコンの使用は燃費が悪くなる為、必要以外は切るように指示をした。	徹底できているので引き続きおこなう。	
廃棄物等 総排出量削減	白上質紙の裏面利用の促進	○	裏面の利用は継続的にされている。	コスト削減の意識付けをおこなう。
	両面コピーの実施促進	○	極力両面印刷を実施している。	コスト削減の意識付けをおこなう。
	紙ゴミはシュレッダー処理し、リサイクルへ	○	徹底できている。	個人情報漏洩防止の注意喚起。
	一般廃棄物の排出抑制 (有価物・資源ゴミは分別)	○	分別を徹底できている。	引き続き継続しておこなう。
水使用量削減	洗車時の止水装置使用	○	問題なく使用できている。	引き続き継続しておこなう。
	洗濯時間 30分/1回	○	時間はタイマーで管理している。	引き続き継続しておこなう。
	節水こまの取り付け・垂れ流しの禁止 ・まとめ洗い	○	無駄な水の垂れ流し等はなかった。	徹底できているので引き続きおこなう。
	植木への水撒きの検討	○	適正な散水が実施されており、水使用量も大幅に削減できた。	引き続き継続しておこなう。
グリーン購入 の促進	事務用品はグリーン商品リスト掲載品からの購入	○	事務用品はなるべくグリーン商品リスト掲載品から購入するようにしている。	ガイドライン変更時に取組み方法を再検討予定。
	感染性廃棄物用段ボール箱使用の促進	○	ユーザーに対して分別してコストダウンなることをアピールしている。	ガイドライン変更時に取組み方法を再検討予定。
教育・研修	産廃法改正時の指導・教育	○	改正等あればその都度従業員に教育している。	引き続き継続しておこなう。
	中途採用社員の教育	○	座学や同行等を管理者が実施。	引き続き継続しておこなう。
	EA21活動に関する指導・教育	○	概ね実施できている。	定期的に報告をおこなう。
	ユーザーへの研修会アピール	○	新規ユーザーにアピールは概ねできた。	既存ユーザーへのアピールも継続する。
	ユーザー研修会の実施	△	研修会はクリニックが多く、病院への実施が課題	病院での研修会の実施をおこなう。
収集産業廃棄物のリサイクル率の向上(自社管理できるもの)	リサイクル処理場への搬入増加の為、リサイクル処理アピール	○	実施できている。	ガイドライン変更時に取組み方法を再検討予定。
	新規取引先のリサイクル処理場との契約	○	取引先処分場はリサイクルをおこなっているところがメインとなっている為問題なし。	ガイドライン変更時に取組み方法を再検討予定。
運搬車両の洗車	外装、保冷库内部の洗車	○	実施できている。	ガイドライン変更時に取組み方法を再検討予定。
	室内の清掃	○	実施できている。	ガイドライン変更時に取組み方法を再検討予定。

実施状況 ○:実施できている △:だいたい実施できている ×:実施できていない

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

	関連法規名	区分	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の収集・運搬	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物の収集・運搬	○
3	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物の収集・運搬	○
4	家電リサイクル法	特定家電製品の収集・運搬	○
5	フロン排出抑制法	フロン含有機器の収集・運搬 社内フロン含有機器の簡易点検 社内フロン含有機器の定期点検(依頼)	○
6	自動車リサイクル法	車両の購入時	○

* 環境関連法規の遵守状況確認日: 福岡本社 2019年 3月16日

長崎事業所 2019年 3月16日

* 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、
違反・訴訟などは過去3年間ありませんでした。

9. 環境経営取組み事例等の紹介

1) 環境教育

* ユーザーに対する環境教育

- ・「感染性廃棄物処理マニュアル」を基本にした医療廃棄物研修会の実施(継続)

パワーポイントにて基本パターンの資料を作成しており、これを病院を中心としたお客様に提示し、要望のある内容を加えて研修資料を作り上げ、そのお客様に合った研修会を実施するよう心掛けています。毎年定期的を実施して頂けるお客様も増加しており、この研修により医療廃棄物特に感染性廃棄物の排出から最終処分までの流れ・処理工程等を認識して頂き、分別の必要性・医療廃棄物のリサイクル処理・コストダウン・事故防止等と呼びかけ、お客様の為になる研修会としていきたい。また、紙おむつを適切に使用しコストダウンにつながるよう資料提供やアドバイスもおこなっている。

[2019年度]

福岡本社 13施設 20回開催
参加者 合計 715名

長崎事業所 6施設 6回開催
参加者 合計 150名



* 社内に対する環境教育

- ・社員の環境意識向上と啓発(継続)

廃棄物処理法改正時や環境に関わる課題、エコドライブ講習、安全運転教育、エコアクション21活動結果報告を行います。

[2019年度]

福岡本社 15回実施/年間

長崎事業所 16回実施/年間



2) 特徴のある環境経営活動

- ・エコ手当支給の継続

規定時間内に業務部全員が協力して仕事を終わらせた場合は手当を支給。「残業しなければ、手当がでる」というユニークな経営活動として、以前テレビの取材を受けました。

残業削減 → 購入電力の減少 → CO2削減



3) 社内緑化の推進

* 駐車場周囲に植木を植栽・社内には観葉植物等の緑を設置(継続)

駐車場の周囲に「つつじ・カイズカイブキ」を植栽しており、事務所入口横には「つつじ等」の花壇を設置している。これを業務部・営業部社員が散水・除草等を実施して管理をしており、カイズカイブキは大きいもので3.5m程に成長し、駐車場の緑化に役立っている。社内には廊下・室内に観葉植物を多数設置して総務部が管理し、緑化と共に社員の目を楽しませています。



← 福岡本社の外観

4) 省エネルギーへの取組み



福岡本社 2012年12月
太陽光パネルを設置



福岡本社 2012年12月
事務所と倉庫の蛍光灯を
LED照明へ変更



長崎事業所 2015年12月
倉庫の水銀灯をLED照明へ変更



福岡本社 2016年12月
自販機を省エネタイプへ交換



CO2低排出車両への買い替え(2019年度は1台入替え、3台増車を実施)

5) 表彰を受けた事例



エコアクション21の10年継続取り組み表彰



福岡県産業廃棄物協会から頂いた優良会員表彰

6) 2017年7月に起きた九州北部豪雨の災害支援協力 (福岡産業廃棄物協会)



宝珠山集積場の災害廃棄物仮置場の様子

7) 事業の透明性に係る基準に適合するための情報を産廃情報ネットの下記URLに記載し公表しております。

URL : http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u2.php?UserID=525972

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は、当社の環境負荷の一番の要因である「軽油・ガソリン等使用料の削減」に関して特に注力して取組んだ。評価としては、目標値・活動計画共に概ね達成できているが、二酸化炭素排出量に関しては年々増加傾向にあるので今後の課題として考える必要がある。（二酸化炭素排出量 2018年度重量比7.3t増）

次年度は2017年版ガイドラインへの移行、熊本営業所も認証登録範囲へ追加し実施中であり、目標の設定や活動項目も経営に連動した形で再検討をおこないシンプルかつ効率的な環境経営に繋がる取組みを実施していきたい。

2020年 3月25日

株式会社 日本医療環境サービス
代表取締役 角 武志